



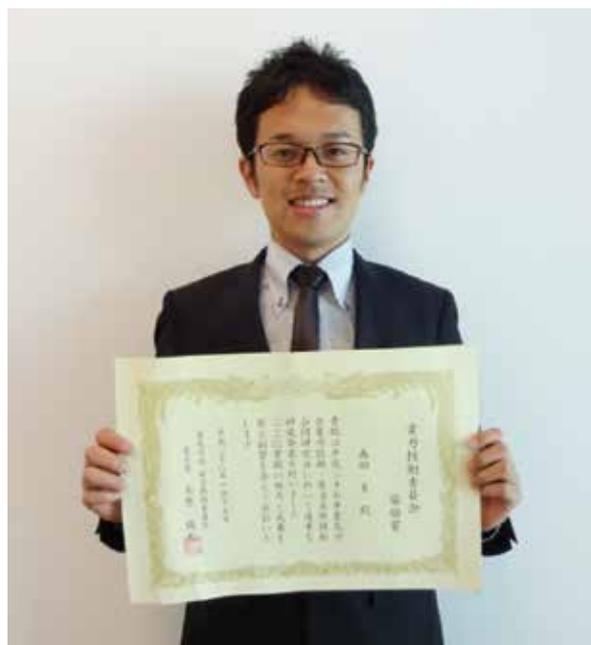
各賞受賞

電気学会電力・エネルギー部門電力技術委員会 奨励賞を受賞

2016年1月15日、電気学会電力・エネルギー部門電力技術委員会の奨励賞を当社森田社員が受賞した。同賞は、電力分野で活躍する若手研究者に対して授与されるものである。

当社は、2016年4月から開始する家庭への電力販売に向けて、名古屋大学と共同で、世帯の属性（住居種別や世帯人数など）と電気の消費量との関係性について分析を行っていた。その関係性を用いて、供給対象となる世帯群の世帯属性から、世帯群全体の電気の消費量を推定するモデルを構築した。

2015年9月に開催された電気学会電力技術・電力系統技術研究会において「世帯属性別の電力需要特性に関する一検討」として発表を行い、その成果が高く評価されたものである。



奨励賞受賞 リソーシズ&パワーカンパニー 電気事業部 森田社員
(受賞当時：中央技術研究所 技術戦略室)



当社グループ会社による不妊治療用製品の欧州販売代理店買収について

2015年12月に当社グループ会社であるアーバイン・サイエンティフィック社（IS社；米国）は、欧州の不妊治療用製品の販売代理店であるバイオケア・ヨーロッパ社（BC社；イタリア）を買収した。

IS社は、1987年に世界で初めて不妊治療培地^(注1)を販売して以来、cGMP^(注2)に準拠した厳しい品質管理のもとに製造された製品を世界各国の病院やクリニックに供給してきた。IS社の製品は不妊治療のプロセス全般において使用されており、その品質は顧客から高い評価を頂いている。

一方、BC社は、欧州における不妊治療分野の有力な販売代理店であり、イタリア、スペインを中心に欧州に強固な販売網を保有するとともに、培地以外にも不妊治療に関連する製品を幅広く取り扱っている。

2016年1月にBC社従業員に対する説明会を開催し、買収の目的の説明やJXグループの紹介とともに、ビジョンや業績目標を共有した。世界最大であり今後も安定的な成長が期待される欧州の不妊治療用培地市場において、当社、IS社、及びBC社で一丸となり、事業拡大を実現していく所存である。

（機能化学品カンパニー セルカルチャーマテリアルユニット CCM 企画グループ 高岡 智之）

（注1） 培地：本来は生体内で増殖する細胞を体外で増殖させるため、栄養源と環境（酸性度、浸透圧）を供給するもの。ブドウ糖やアミノ酸を主体に、ビタミン、無機塩などからなる。

（注2） cGMP：current Good Manufacturing Practiceの略で、医薬品等の製造管理、品質管理の基準。



バイオケア・ヨーロッパ社（BC社）の外観



BC社の営業員一同



2016年1月に開催したBC社従業員に対する説明会の様子（右手のプレゼンターがルカ COO）



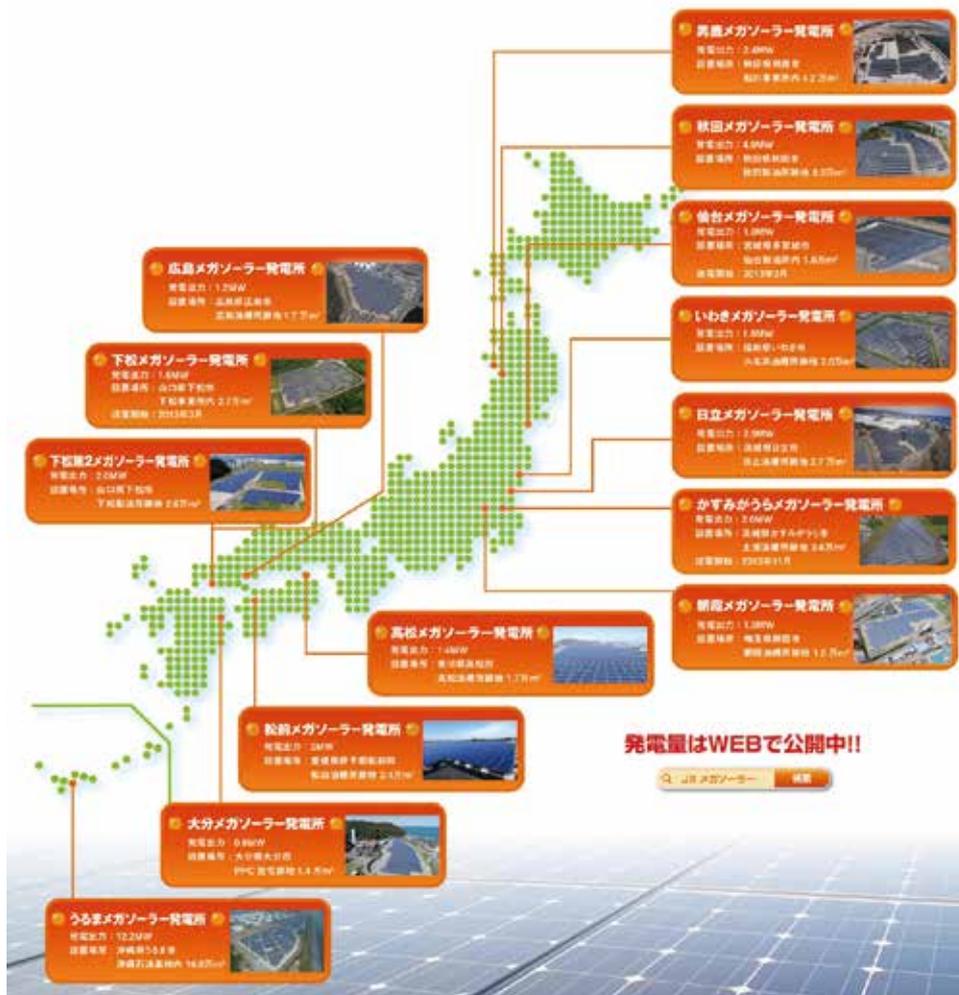
JXエネルギーのメガソーラー展開

2012年7月、再生可能エネルギーの固定価格買取制度が施行されたことを踏まえ、当社は、これまでに、北は船川事業所内の男鹿メガソーラー（秋田県）から、南は沖縄石油基地内のうるまメガソーラー（沖縄県）まで、計14か所、発電容量35メガワットのメガソーラーを建設し、JXグループの遊休地を活用したメガソーラー発電事業に取り組んでいる。

建設時には、設置場所に合わせた基礎、パネルの配置や角度だけではなく、20年間の維持管理も考慮している。維持管理の一つとして、パネルの出力低下の要因となる雑草による日陰対策が必要である。その対策として、一般的には草刈または除草剤散布を行うが、雑草が繁茂する土地では防草シートを敷設し、風が強く地盤の固い土地はモルタルを敷設するなど、立地や環境など周辺状況に合わせた適切な対策を行っている。

当社は、今後も顧客のニーズに合わせた様々なエネルギーを提供する「エネルギー変換企業」として、持続的な社会の実現に貢献していく。

（新エネルギー事業部 ESCO & ソーラーグループ 水野 環樹）



JX エネルギーのメガソーラー展開